

NEWS LETTER 59

2015
VOL. TAKE FREE



News Letter

Vol.59

2015年8月31日発行

宝塚大学 東京新宿キャンパス 東京メディア芸術学部 | 大学院 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目11番1号
TEL:03-3367-3411 FAX:03-3367-6761 E-Mail:tokyo@takara-univ.ac.jp

東京メディア芸術学部！～高校に出張授業の巻～
在学 Interview!!
荒澤光子さん
NEWS LETTER 編集委員が行く！
歌舞伎町革命～安心して遊べる街へ～
講師 Interview !
真島ヒロシ 講師
リレーマンガ
『私達の大学生活はまだ始まったばかり。』 第5話
HOT TOPICS

なりたいたいわたしに近い大学。

都心のキャンパスだから
発信する場がいっぱい!

社会に
近い。



先生は第一線で活躍する
現役クリエイター

教員に
近い。



各沿線の新宿駅から
歩いてすぐ

新宿駅に
近い。



各沿線
新宿駅から
徒歩約5分!

学びの特徴

現役クリエイターによる指導のもと、領域の枠を超えて学べるカリキュラムで一人ひとりに合わせた学びを実現!

POINT 1
現場で生きる教育を実践
先生=クリエイター

POINT 2
+αの学びが力になる
選べるカリキュラム

POINT 3
きめ細やかな対応が可能
少人数制の授業

進学相談会

10/31[±] 12/5[±]
2016 1/30[±]

開催時間 13:00~16:00

入試やキャンパスライフなどなど、さまざまなご質問にお答えします。ぜひお気軽にご参加ください。



オープンキャンパス応援大使
宝塚しんが子だよ！eεε

ACCESS アクセス



- JR「新宿」駅(西口)から徒歩約5分
- 都営大江戸線「新宿西口」駅から徒歩約5分
- 地下鉄丸の内線「新宿」駅から徒歩約4分
- 西武新宿線「西武新宿」駅から徒歩約4分
- 小田急線「新宿」駅から徒歩約5分
- 京王線「新宿」駅から徒歩約5分
- 都営新宿線「新宿」駅から徒歩約5分



神田女学園中学校高等学校



マンガ領域の上原先生が「イラストの描き方講座」を開催しました！漫画部を中心に18名が参加し、大学内で行っている授業ながら講義を行いました。人体のパーツの描き方では、実際に自分の体を動かしたり触ったりして、とにかく何度も見て描くことが大切！高校生も興味津々でした。

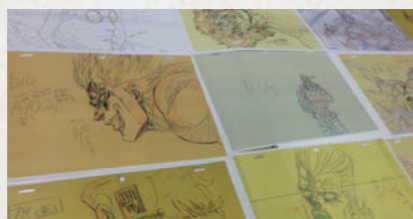
生徒からもたくさん質問が挙がり、説明のために先生が黒板に絵を描かれるたびに、感嘆の声が！

講座後「イラストが上手く描けるようになった」「もっと講座を受けたい」「教材を家宝にします！」など生徒達も興奮した様子で感想を言ってくれました！



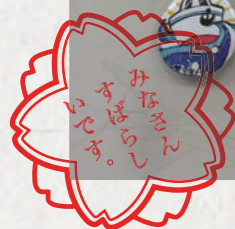
東京都立本所高等学校

美術部の生徒13名を対象に、アニメーション領域の芦谷先生が出張授業を行いました！プロの現場で使われたキャラクターで作画体験をしてみよう！という授業でした。プロのアニメーターを目指す新人が研修期間に行うキャラクターの作画トレースと、キャラクター模写の練習を行いました。アニメーション作画の難しさを感じながら、しかし真剣に、楽しんで描画の体験に取り組んでいました。実際の現場の雰囲気を生で味わうのが初めてだった美術部のみなさんの眼がとてもキラキラ輝いていました！



東京都立広尾高等学校

美術部員4名の方を対象に、オリジナル缶バッジの制作を行ってきました。生徒のみなさんには自分が欲しいバッジと他人が欲しいバッジの2つを最初にデザインしてもらいました。自分が欲しいデザインはすぐに浮かぶのですが、他人が欲しいデザインには最初苦労したようです。友達の作るバッジをお互い参考にしながら楽しんで作ると、友達も欲しいバッジを作ることができていました！

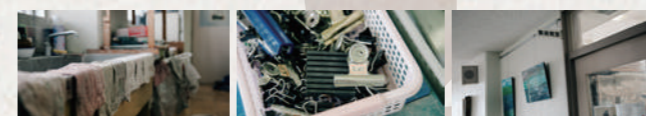


東京メディア芸術学部の先生たちが定期的に高等学校に訪問して授業を行う!!
漫画、イラスト、アニメ、など普段の授業とは一味違った楽しい世界を伝えに在学学生も一緒になって出張しています！

東京メディア芸術学部！

高校に出張授業の巻！

東京都立桜町高等学校



コンテンツデザイン領域の渡邊先生と、在学中でNEWS LETTER 編集部の有馬さん(マンガ領域4年 潤徳女子高等学校出身)が出張授業に行ってきました!!!



美術室をつかって漫画愛好部の生徒たちが集まりました。



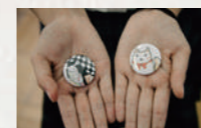
NEWS LETTER 編集部の有馬さんも、高校生の前で漫画のこと、大学のことを熱弁！



コンテンツデザイン領域の渡邊先生がバッジづくりの説明中！

バッジづくりに挑戦!!

1つ目は自分が欲しいバッジを、2つ目は誰かが欲しいバッジをテーマにデザインしました！自分だけのオリジナルバッジづくりにみんな夢中でした！ものづくりの体験を通して高校生に夢を与えるような活動も引き続き行っていきます！



バッジの出来上がり！



切り抜いたイラストと、バッジの材料をセットして圧着していきます。



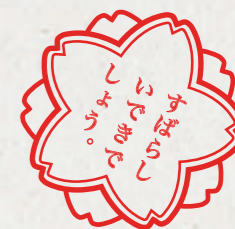
描き終わったら丸く切り抜く道具をつかって、切り抜きます。



まずは自分が欲しい！と思えるイラストをこの円の中にデザインしていきます。



サークルの顧問先生もバッジづくりに挑戦！そして、絵がとても上手!!!



在學生 Interview!!



なぜ宝塚大学に入学したのですか？

地元は埼玉県の浦和学園に通っていました。漫画研究会に入って毎日のように絵を描いていました。高校に入ったときから美術部を選ばなかったのはフライングアートではなく、アニメ、漫画を描きたかったからなんです。大学に進学するときもその気持ちを進路指導の先生に相談したら、宝塚大学の名前が出てきました。工芸大学や美術大学も視野に入れていましたが、自分を全面に表現するアーティストのような存在ではなく、商業寄りの作り手になりたいと思っていました。職人さんのような世界に憧れがありまして、一人でコツコツつくるよりも仲間と一緒につくりたい気持ちが強かったのです。

当時、けっこう将来のなりたい像がはっきりしていたので、親や友人からは夢が早く見つかって珍しがられました。アニメや漫画は幼少期からずっと馴染みがありましたし、従兄弟や親戚に年上が多かったのでその人たちの影響をかなり受けています。アニメをテレビでつけながら絵を描くのが趣味で、それほど日常の中に溶け込んでいました。高校卒業時に進路を決めるときに、アニメ以外は考えられないと思いました。いたってシンプルな考えでした。

入学してどうでしたか？

今までアニメは「見る」専門で実際に制作はしたことはありませんでした。「タイムシート」とか制作サイドからの話や、作画以外にもアニメをつくるのにたくさん行程があるのを知って感動しました。1つの作品を作り上げていくのに本当に多くの人が関わっていて、たく

さんの仕事があるのだと思いました。今まで好きで描いてきた絵を描くだけではなく、「仕事」としてアニメをやるのは大変だと痛感しましたね。宝塚大学では実際のアニメの現場で仕事している先生がいて、作画のアシスタントをする機会もあります。1枚の絵を清書するのに1時間もかかっているのはダメだ、とか仕事のスピード感も肌で感じられるような体験もできます。先生がやっている仕事のスピードと自分のスピードが見えたりして、圧倒的な違いを知りました。アニメで仕事をしていくことは簡単ではないと感じていますが、逆に在学中に仕事の大きな流れを知って、なにを努力すればよいか明確になってきています。頭でっかちにはなりたくないの、知識のほかに制作するスキルをあげるべきだと今は感じています。

ちょっと嫌なことがあったぐらいではアニメを嫌いにならない自信もついてきました。アニメ制作においてデジタル作業は必須ですが、唯一そこが苦手です(笑)。いきなりリンゴのデッサンをペンタブレットで描けと言われたときは、もう焦りましたね。少しずつデジタルのスキルを上げていますが、そこはデジタルが強い友達に助けられてもいます。

学生生活は先生や友人ともすごく仲が良いので楽しいですね。高校時代は漫画研究会に所属していましたが、オタクの話に花を咲かせることはそんなに多くなかったんです。スラムダンクとかちょっと世代の違う古い漫画が好きで、同年代の友達とはあまりそういう話で盛り上がれませんでした。宝塚大学に入って本当に同じ話題を話せる人が増えました(笑)。先生ももちろん詳しいですし、好きなことを我慢せずに思いっきりコミュニケーションを取れることはなにより嬉しいことです。



▶ 『動画技術1.2』での課題制作「メロディー」グループ制作

今後の人生は？

現在、就活中なんですけど、忍たま乱太郎とかアンパンマンとか、クラシックで絵のラインがしっかりあるアニメに今興味があります。自分の作風に合う会社に入ると、息の長いアニメ社会人生活を送りたいと思っています。作画をする仕事で今後生きていきたい。そのためには、もっとうまくやりたい！という気持ちが強いです。描くスキルを上げて、職人さんのようにになりたい。原作者というより、あるアニメがすでにあって、そのアニメを誰よりもうまく描きたい。商業アニメを極めていきたいですね。



ゼロからなにかを生み出すより、あるものを最大限生かせる仕事がいいです。昔のセル画が大好きなので、3Dとかは全然興味がないんです。昔の手法でのアニメにこだわっていききたいですね。スラムダンクは最終回に近づいていくにつれて、インクの乗りが変わってくるんです。作者の想いが滲み出てきて、絵からもその気持ちが伝わってくる。そんな人間的な泥臭い作風を感じるものに気持ちが強くなりますし、自分が描いたもので人の心を動かせる人になりたいです。

他にもこんなイベントがアツい!

オクトーバーフェスト



ドイツのビール祭りが新宿にやって来る!!
ドイツ・ミュンヘンで開催される世界最大のビール祭り「オクトーバーフェスト」。
会場内の飲食販売では、普段はなかなか飲む機会のない樽生のドイツビール、ジャーマンソーセージやプレッツェル、ドイツのスイーツ等が販売されました。
ステージではドイツ民族音楽の演奏も。
今年も大盛況で、たくさんの方にお越しいただきました!

激辛グルメ祭り



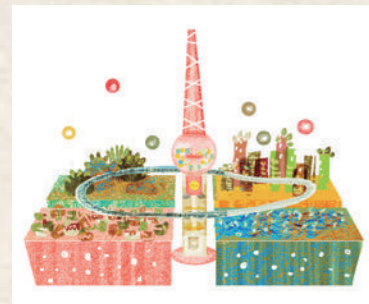
「激辛だけど超うまい! ビギナーからマニアまで楽しめる!」
激辛界を代表する名店が大久保公園に大集結! 激辛だけど超うまいメニューが全3ラウンドに渡って堪能できます。
激辛ビギナーから激辛マニアまできつと満足できる奇跡のグルメイベントです!
ますますパワーアップする本イベントに、皆様ぜひお越しください。

歌舞伎町の久保公園では、年間180日間イベントが開催されています。今回はその一部をご紹介します。これから始まるイベントもあるのでチェック!

新宿クリエイターズ・フェスタ 2015

宝塚大学の作品たちを PICK UP!!

今年で5回目となる多様な文化・芸術を育み、常に時代の最先端を走り続ける「新宿」の遺伝子を生かした夏の一大イベント。アートを通じて新宿の魅力づくり・イメージアップを図り、新たな賑わいと活気づくりを目指しています。新宿駅周辺の空間・施設を活用し、「アーティスト展」・「こどもアート」・「新宿アート・コンペティション」・「まち中アート」など多彩なアートイベントを展開しています。宝塚大学も1年目から出展しています!!



新宿夢まち計画

-ガチャガチャから広がるタイムスリップの夏-
8月28日(Fri)~9月7日(Mon)
10:30~19:00(最終日は15:00まで)
場所:コニカミノルタプラザ

イラストレーション領域、在校生・卒業生有志による作品です。
あの頃の商店街に置かれたガチャガチャのハンドルをひねると見慣れたまちと隣り合わせの海と山。取り出したカプセルのアイテムをステージに加えれば、もうこれでこのまちの住人。ちいさな夢が集まるほどに、あなたの知ってる新宿は、夏の日の淡い思い出にすがたを変えて行きます。「日暮れまでには帰っておいで。」それまでそっと、かくれんぼ。



プライベート・パブリッシング in 中井

8月22日(Sat)~8月31日(Mon)
場所:フォトクリエイティブ

若き赤塚不二夫が愛した新宿区中井。「まち中アート」では新宿区中井を会場として「プライベート・パブリッシング in 中井」と題してプロジェクションマッピングを実施しました。
映像領域田島悠史先生の作品です。



みるっく展示 プラネタス

8月30日(Sun)~9月23日(Wed)
場所:ギャラリオーガード「みるっく」

宝塚大学東京メディア芸術学部イラストレーション領域、在校生・卒業生有志による原画展です。
テーマは「プラネタス」。「プラネタス」とはギリシア語で「惑星」の意。英語の「PLANET」の語源でもあります。
今回はサブタイトルに「12の星の物語」と題し、参加学生それぞれが自分の星座の絵を描いています。

歌舞伎町 × 宝塚大学

まちおこしのために、歌舞伎町タウン・マネージメントと宝塚大学が一体となり行ってきた取り組みです。



歌舞伎町タウン・マネージメント
事務局次長
藤林 文男さん

歌舞伎町タウン・マネージメントとは?

みんなが安全・安心に過ごせるまちをつくる取り組みと、エンターテインメント情報を発信し、歌舞伎町の活性化を図る団体です。

農山村ふれあい市場



新宿区と姉妹提携を結ぶ全国の都市なども参加する地域イベント。学生による似顔絵参加や歌舞伎町の人々をキャラクター化したカードゲームやマンガ制作などで協力。

歌舞伎町クリスマスコンサート



シネシティ広場で中学生バイオリニスト林周雅くんの演奏や青山学院大学オペレッタクラブのコーラスなどにあわせて学生がライブペイントを実施。イベントの様子はNHKニュースでも紹介されました。



Jagzz トリックアート (宝塚大学 × black-box × 歌舞伎町)



イラストレーター black-box 氏と学生のコラボ作品「Jagzz trick art」を新宿コマ劇場跡地仮囲いに展開。訪れた人々が作品に参加できるトリックアート。



歌舞伎町革命

インターネット

NEWS LETTER 編集委員が行く!

「安心して遊べる町へ」
眠らない街と言われ、かつてあまり良くないイメージを持たれていた歌舞伎町。そんな街を住みよい地へと変えるべく、立ち上がった者たちがいた。
その名も、「歌舞伎町タウン・マネージメント」!!

講師 Interview!

真島ヒロシ講師



——宝塚大学で教える前はなにをされていたのですか？

理系の大学を出て、そのまま既存のルートで当然のように電機メーカーに就職しました。しかし、どうしても興味があった映像制作の仕事がしたくて、迷った末に一年で辞めました。

その後は小さな映像の制作会社に入って、映像の仕事に就きました。当時入った会社は映像制作部門が新設されたばかりだったので、その会社には運良く先輩がいなかったんですよ。今でいうベンチャーのような制作会社で、すぐに現場では責任者をやらせてもらいました。先輩の下について背中を見て学ぶ期間はなく、つねに現場にいる一線の方たちにもまれながら仕事を覚えていきました。

当時コンピューターが始めたときで、ディレクターをしながら自らCGをつくったり、編集もしていました。撮影も自分でやることも多かったので珍しかったと思います。

す。ある程度、現場で行われることや自分自身で映像をつくれるようになったので独立しました。スキルを身につけられれば独り立ちできる業界ですので、フリーで動いている人も多いと思いますね。

Profile

ミュージックビデオクリップ、テレビCMを中心に企画・演出およびデジタルアーティストとして活躍。
宝塚大学東京メディア芸術学部非常勤講師



——宝塚大学との出会いは？

ゲーム領域の井上先生とのご縁がきっかけです。九州の東海大学のCMをやったご縁で呼んでいただいた『CGコンテスト』の審査員でお会いしました。東京メディア芸術学部の立ち上げからいた井上さんのお誘いでしたので、ぼくも今まで学生に教えるということは経験なかったのですが、逆にいいチャンスだと思いお引き受けることにしました。ぼくらの業界は背中を見て学べ！という姿勢が今でも強く残っているもので、後輩がいても言語化したり、教えたりということはなかったんですね。でも今後はそれじゃいけないと思っています。現場でいち早く活躍してもらうためにも、学生には赤裸々に業界のことを伝えていきます。自分自身、教えることで振り返ることができましたし、学生たちが成長していくのを見るのも、とても楽しいですね。

——学校ではどんな授業を教えていますか？

おもに映像、演出の授業です。コマースシャルを一本つくるのには、企画、演出、撮影準備、撮影、編集という流れがあります。1年生の前期ではクオリティに関係なく、とりあえずつくってみようという授業です。今まで映像を学んでいる人はほとんどいませんから、映像初心者ばかりです。まったく気負いなく入ってきてくれて大丈夫です。映像だけに特化しているわけでもなく、ゲーム制作にしても、アニメにしても、映像をつくることと共通している部分は多くあります。そのプロセスを学ぶことで他の領域にも経験を活かせることはあって学びは多い授業だと思います。

——教えていて大切にしていることはなんですか？

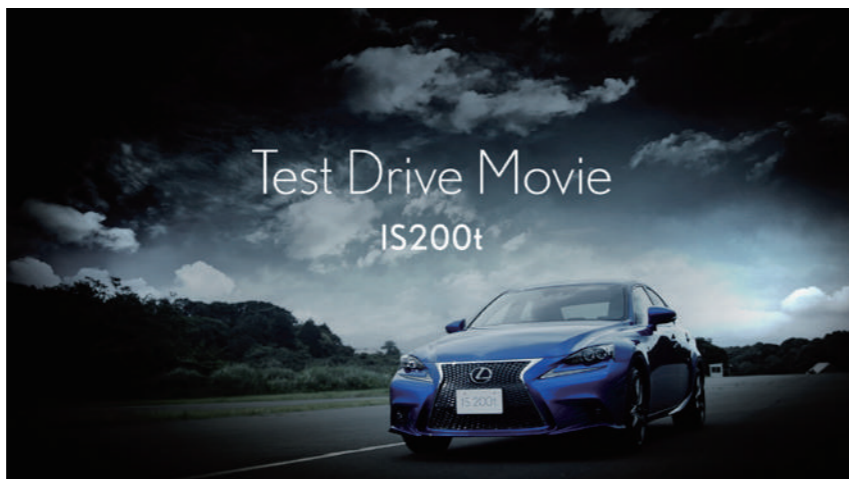
映像の授業は大きな画面をつかって講義します。映像の授業ですから映像を流すことが多いですね。学生たちの作品も発表して、みんなで見ることです。学生同士のモチベーションも上がっていきます。ほぼ全員が未経験の人たちなので、努力をすれば結果は必ず出るものなんです。時間と思い入れをしっかりと持っていれば、映像はどんどん成長していきます。

映像のクオリティをどうやったら上げることができるとか。そのことだけを考え、伝えていきます。映像をつくることは、演出も編集もすべてのクオリティが高くないといけない。その集合知が映像だと思っています。長い行程があることをまず知ってもらい、その中で得意分野で見つけていく。カメラを回すことが好きな人、編集が好きで、CGをつくるのが好きな人、たくさんの「好き」の中で磨いていけるものをぜひ学生生活の中で見つけて欲しいですね。

——真島先生のこれからは？

これからの展望は？抱負は？と聞かれることが多いんですけど、ここ最近はずっと「現状維持」と答えています。決して後ろ向きな意味ではなく、年齢に逆行せず努力し続け常にスキルアップして作品のクオリティを上げていく。それができないと、どんどん若い才能に追いつかれて「現状維持」さえ厳しい業界なので(笑)。歳とつたらできない仕事なんて嫌じゃないですか。いつまでもちゃんと自分と向き合っていて、いい映像をつくるのが今後もやっていきたいことです。

真島先生が携わってきた作品たち



■第5話■
作画担当:栗原啓彰(4年)

東京メディア芸術学部

リレーマンガとは
複数の人が順番に描いていく漫画のこと。
この漫画では、月毎にプロットを編集者、作画を学生が担当しています。

リレーマンガ 私達の大学生活は まだ始まったばかり。

あらすじ

コスプレサークルの活動として「夏コミ」に参加した千絵と水咲。写真撮影や自分の買いい物をして外部のイベントに参加することの楽しさとすごさを知ったのだった。

※この漫画は、宝塚大学の学生生活に基づいたフィクションであり、実在する人物などはほぼ関係ありません。

今日はOCの
お手伝いです
オープンキャンパス

マンガは
アナログから始めて
デジタルも……

入学して1年も
経ってないけど
高校生の若さが
眩しい……

コラコラ
仕事しなさい(笑)

先輩!

というか
なにしてるの?

こうして見ると
うちの大学は皆
仲良いと感じて

いやあ、えーと
高校生の頃が
懐かしくなったと
いいますか

あつちで
迷ってるっぽい子が
いますよ?

先輩♪

先輩って
もう……

あのー、もしかして
ワークショップに
参加希望の方
ですか?

さてさて
私も……

可愛い先輩の
ためにお仕事
頑張りますか!

★何事も経験が大事。
次号は学祭編!!

あと自分も
ワークショップに
参加したいなって

気持ちとは
分かるけど

OCに来て
ここいいなあと
思っただけ

まあ
かくいう私も
……

大学生の人と
話せるのも
新鮮だったかな

人物紹介



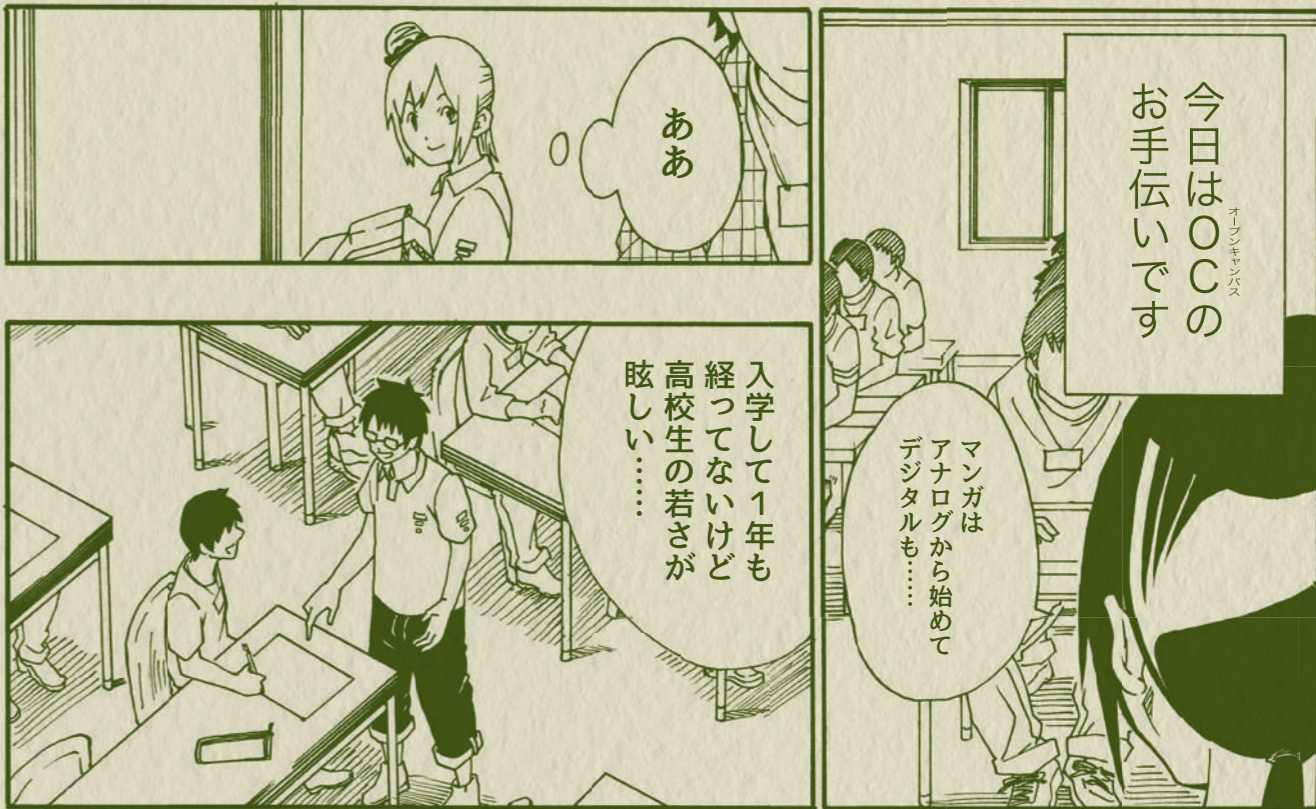
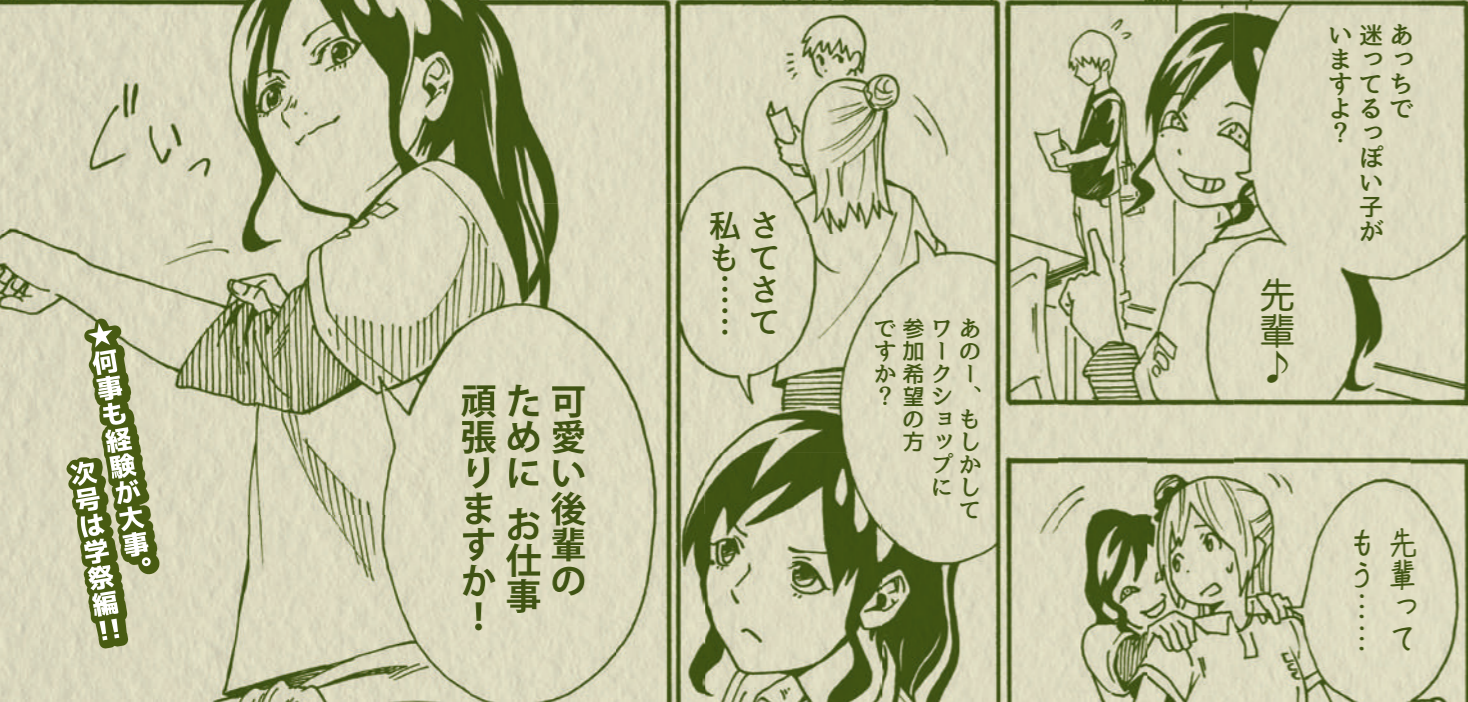
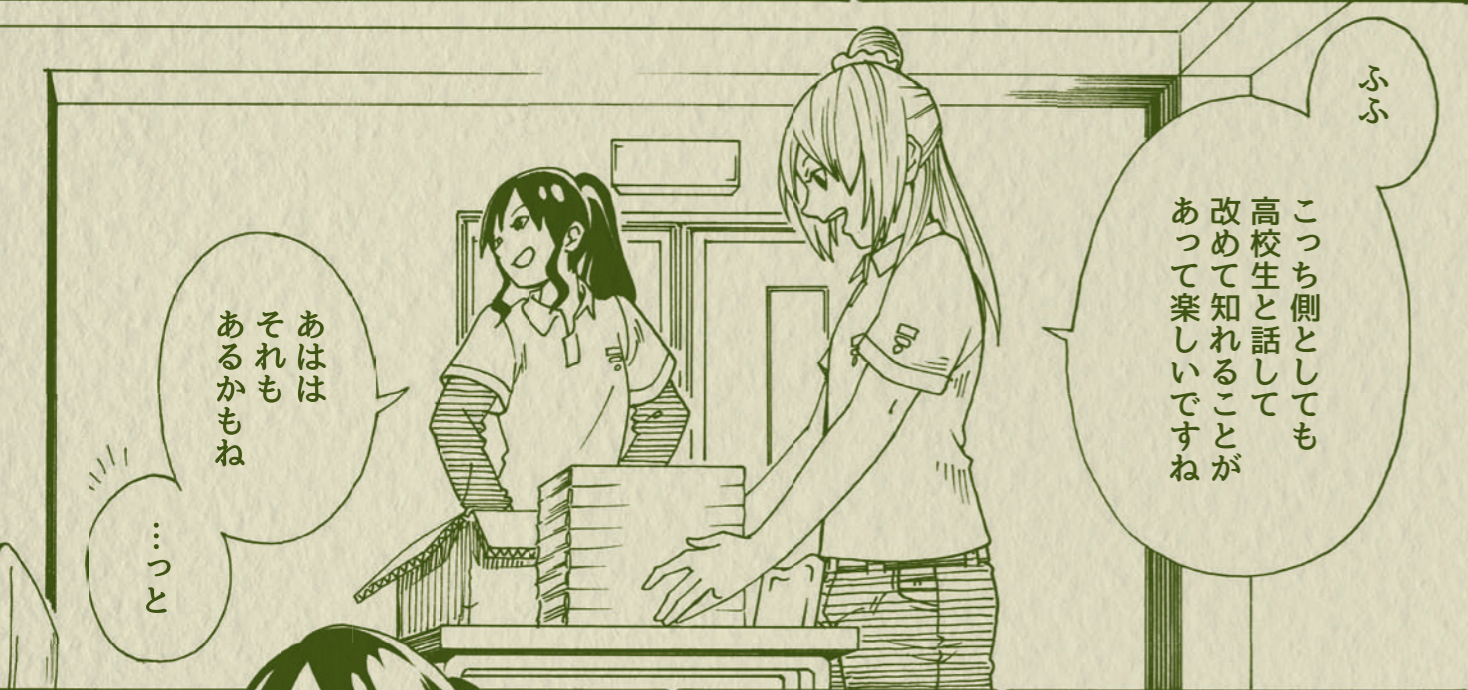
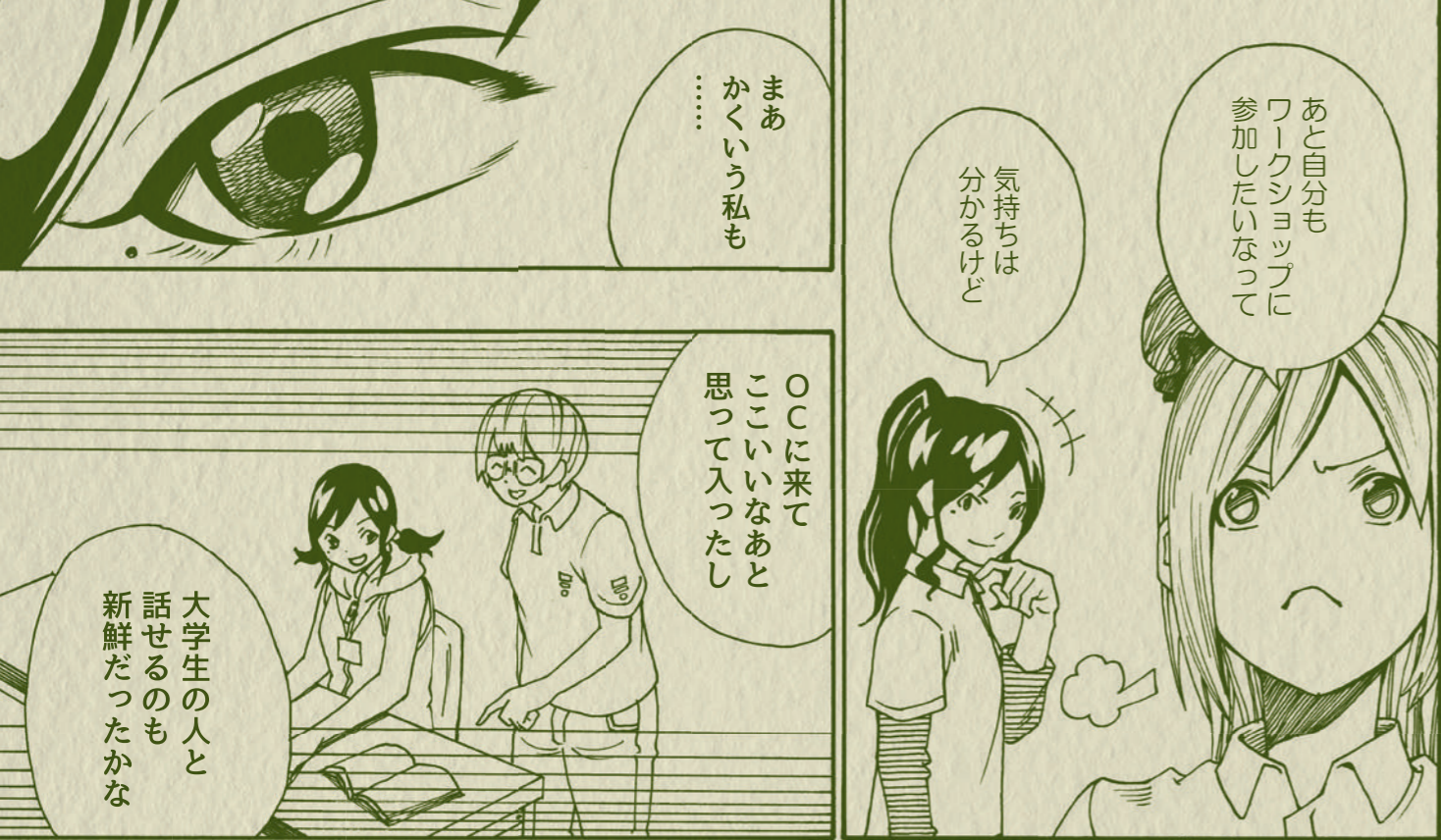
新城千絵

マンガ領域の1年生。
好奇心旺盛で何にでもチャレンジする。
意外と力持ち。



?

宝塚大学東京メディア芸術学部の学生。
オープンキャンパスを手伝う学生の一人。
彼は一体……?



ISETAN ART & CREATION FESTA 2015「〈コカ・コーラ〉ボトル100周年記念
コカ・コーラ | ISETAN ~学生協業ウィンドアート~」に参加



伊勢丹新宿店本館で開催された「ISETAN ART & CREATION FESTA 2015」の「〈コカ・コーラ〉ボトル100周年記念 コカ・コーラ|ISETAN ~学生協業ウィンドアート~」に宝塚大学からも50人の学生が参加しました。

このイベントは次世代へのアートやクリエイションの伝承や振興につなげる取り組みとして、コカ・コーラとISETANが新宿クリエイターズ・フェスタ2015と協業して、区内のアートやデザインを学ぶ学生の作品を展示したものです。

展示期間：8/5~8/24
展示場所：新宿伊勢丹明治通り側ショーウィンドウ



HOT TOPICS

マンガ領域4年生が第4回ガリバー旅行記はがき絵コンクールで
「横須賀国際交流協会賞」を受賞



横浜のガリバープロジェクト主催の「第4回ガリバー旅行記はがき絵コンクール」で本学マンガ領域4年の顧嘉艶さんが「横須賀国際交流協会賞」を受賞しました。

同コンクールは2012年から毎年開催しており、本年度は横須賀、横浜、大阪、イタリアから総数123点の応募がありました。作品は観音崎京急ホテル、横浜港大さん橋2階ロビーなどで展示されました。

学内サークルによる合同イベント「Beginning Summer Festival」



軽音楽部とコスプレサークルによる合同イベント「Beginning Summer Festival」が、7月24日夜に学内で開催されました。

このイベントは、軽音楽部、コスプレサークルに新加入した1年生が、自分たちの演奏やパフォーマンスを初披露する機会として企画されたものです。1年生たちは、この日のために用意した衣装でダンスを披露したり、上級生顔負けのバンド演奏を繰り広げたりするなど、多くの学生の前で練習の成果を発揮していました。また、当日は1年生以外の学生や大学院生も参加し、学年や領域の垣根を超えた交流も生まれました。

「第6回クラサン杯」で4年生のあゆ丸さんが1位を獲得！



全国のまんが系スクールの学生を対象にした投稿まんがのコンテスト「第6回クラサン杯」で4年生のあゆ丸さん（ペンネーム）が第1位を獲得しました！

応援頂いた皆様、有り難う御座いました！あゆ丸の活躍ご期待下さい！！

「クラサン杯」は、全国のまんが系スクールの生徒を対象にした投稿まんがのコンテストです。エントリーされた作品は、「クラブサンデー」のサイト上ですべて公開され、読者投票および「クラサン杯」事務局の審査により、優秀作品が決まります。

「第1回クラサン杯」では、マンガコース第一期生の黒郷 ほとりさん（ペンネーム）の作品『セイレーンのまどろみ』がグランプリに選ばれました。

『鎌倉ジュニアオーケストラ 第32回定期演奏会』の
チラシ・ポスター・プログラムのデザイン制作を行いました。



鎌倉芸術館で行われた『鎌倉ジュニアオーケストラ 第32回定期演奏会』のチラシ・ポスター・プログラムのデザイン制作をデザイン表現研究室渡邊ゼミの学生たち（4年 有馬ゆずか《潤徳女子高等学校出身》、4年 高田佳奈《都立工芸高等学校出身》、4年 中田亜花音《東京学館船橋高等学校出身》、1年 成瀬由唯《埼玉県立芸術総合高等学校出身》）が行いました。プログラムの表紙にも使われるチラシ・ポスターのデザインは演奏会でのメインの曲をイメージに毎年制作され、同ゼミ毎年恒例の制作となっています。

東京ゲームショウ2015

9/17~9/20

ビジネスデイ

9月17日(木)・18日(金) 10:00~17:00

一般公開

9月19日(土)・20日(日) 10:00~17:00

会場：幕張メッセ ホール1-9, イベントホール, 国際会議場

主催：一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会 (CESA)

内容：幕張メッセで開催される東京ゲームショウ2015 (TGS2015) にゲーム領域が出展します。ブース設営、作品全て学生中心で運営しています。



東京メディア
芸術学部の
これから!



歌舞伎町タウン・マネージメントの藤林さんとニュースレター編集委員

9月になってもまだまだ暑い日が続きますが、この夏はどのような過ごし方をお伝えしています。新宿歌舞伎町のイメージといえば『夜の街』『危ない』といったイメージかと思いますが、現在は歌舞伎町タウン・マネージメントの方たちのおかげで犯罪件数も減りTOHOシネマズが出来たりと、ずいぶん安心して歩ける街になりました。しかも最近温泉施設も出来たようでニュースレター編集部も夏の疲れを癒しに行きたいと思えます!

編集後記

さて、今回の新宿まち歩き企画は、新宿歌舞伎町が安心して遊べる街になっていることをお伝えしています。新宿歌舞伎町のイメージといえば『夜の街』『危ない』といったイメージかと思いますが、現在は歌舞伎町タウン・マネージメントの方たちのおかげで犯罪件数も減りTOHOシネマズが出来たりと、ずいぶん安心して歩ける街になりました。しかも最近温泉施設も出来たようでニュースレター編集部も夏の疲れを癒しに行きたいと思えます!



NEWS LETTER 編集部

Editor	金澤英樹 (本学職員)	Assistant Designer	松原麻友 (2年)
	ミネシゴ (フリーライター)		
Art Director	渡邊哲意 (本学准教授)	表紙イラスト	栗鹿子 (3年)
	芦谷耕平 (本学講師)	リレーマンガ 作画	栗原啓彰 (4年)
	小野寺真央 (大学院1年)		
Designer	有馬ゆずか (4年)		
	河野真美 (4年)		
	高田佳奈 (4年)		
	中田亜花音 (4年)		

→→→ 連載 →→→

入試課金澤のおすすめ!

新宿スイーツ食べ歩き

入試課の金澤が大好物であるスイーツをピックアップし、編集委員の小野寺と松原が皆様にお届け!

ロサンゼルス発祥、セルフ式のフローズンヨーグルトショップ

!感想(…°ω°…)!

バリエーション豊富なフローズンヨーグルトとトッピングで世界にひとつだけのカップになります!



メンチーズ
ビックロ新宿東口店

東京都新宿区新宿3丁目
29-1 ビックロ1F
11:00~23:00

新宿ラーメン巡り

これは院生の小野寺が自身の大好物であるラーメンを求め新宿を巡り、独断と偏見で選んだラーメンを食べては描くという企画である。



二丁目つけめんGACHI

東京都新宿区新宿2-17-10 黒岩ビル1F
東京メトロ新宿三丁目駅C7出口より徒歩3分
11:00~23:00(L.O.22:50)



小野寺真央

1992年12月27日生まれ。
宮城県気仙沼市出身。東京都北区在住。
2015年3月に東京メディア・コンテンツ学部卒業。現在、メディア・造形研究科修士課程1年生としてNEWS LETTERに携わる。
好きな食べ物はもちろんラーメン!

二丁目つけめんGACHI
Sio DX (990円税込)